

2024  
MIYAGI  
RECRUIT  
GUIDE

宮城県職員ガイド



宮城県職員募集2024

# 学校事務

# 業務紹介

## ◆ 概要

総務、経理等の事務全般（図書事務を含む。）  
学校教育や社会教育等に関する教育行政事務

## ◆ 勤務先

県内の公立小学校、中学校、高等学校、特別支援学校  
（仙台市立の学校を除く。）  
本庁各課、教育事務所  
美術館、図書館、東北歴史博物館等

# 自己紹介

- ◆ 出身 : 遠田郡美里町
- ◆ 入庁までの経歴 : H21.3 県内大学卒業  
H21.4 入庁

## 入庁後の異動歴（現在入庁16年目）

- H21.4～ 山元町立坂元小学校
- H23.4～ 鹿島台商業高等学校
- H26.4～ 教育庁義務教育課 庶務担当
- H28.4～ 産休、育児休業
- R3.5～ 教育庁総務課 行政統計班
- R6.4～ 教育庁総務課 職員人事班

# 志望動機

## ◆ なぜ公務員？

家族が教員だったこと、学生時代に教育専攻だったことから  
学校で勤務したいという思いがあった

## ◆ なぜ宮城県庁？

生まれ育った宮城県の子どもたちのために働きたい  
広い視野で仕事がしたい

# これまでに担当した業務の紹介

## ◆ 小学校

給与、旅費、福利厚生、市町村費会計

## ◆ 高等学校

給与、旅費、福利厚生、報酬支払、学校徴収金の徴収

## ◆ 本庁（義務教育課）

給与、旅費、福利厚生、事業実施に伴う支出

## ◆ 本庁（総務課 行政統計班）

文書管理、公印管理、法制執務、奨学金給付

# 現在の担当業務の紹介

## ◆ 本庁（総務課 職員人事班）

会計年度任用職員の任用、育児休業、病気休暇等の  
取りまとめ、表彰など

同じ所属でも、班が違えば業務内容も全く異なる

# 入庁前のイメージとのギャップ

## ◆ 入庁前のイメージ

基本的にはデスクワーク

人前で話す機会が少なそう

## ◆ 入庁してみたら・・・

学校施設の修繕箇所の確認、疑義の照会など現場に行く、担当の方のところに出向くことがよくある。

職員会議や、開催する研修等で話す機会が結構ある。

# 仕事をする上で心がけていること

## ◆ 明るく、丁寧に應對すること。

相手と気持ちよくやり取りをするために大切。

## ◆ 仕事の根拠を大切にすること。

何に基づいて仕事をしているのかを確認すると、自信につながる。

## ◆ 一人で抱え込まないこと。

困ったときは、早めに周りに相談する。仕事はチームで取り組む。



# 印象に残っている業務

- ◆ 県が出す文書や、事務処理の根拠となる規則などの文言を審査する中で、言葉の大切さに気づきました。
- ◆ 初任地の小学校に勤務していたときに、東日本大震災が起きました。子どもたちに寄り添いながら、学校再開に向けて施設点検を行ったのが、忘れられません。

# 仕事のやりがい

- ◆ 業務の知識を身につけながら、業務に取り組むことができ、その効果を実感することができる

事前知識がゼロであっても、実際に業務に取り組みながら知識を身につけていくことができます。その身につけた知識を基に、担当する業務がよりよいものとなるよう考え、実践することができます。

## ◆ お互い助け合うことができる

業務で判断に迷う案件などがあつたときに、一人で抱え込まず、皆で考えることができる環境です。

家庭の事情でどうしても休まなければならないときにも、周りの方がフォローしてくれています。

# 宮城県職員の魅力

## ◆ 様々な職場で様々な業務を経験することができる

たくさん経験することで、知識がたくさん身につきます。また、職場によって経験を活かす機会もあり、さらに自身の業務理解が深まります。

## ◆ 様々な地域で働くことができる

今までよく知らなかった地域で働くことで、その地域の魅力を発見することができます。また、地域ごとの特性やイベントなど、宮城県への関心が高まります。

# 私の公務員試験対策

## ◆ 繰り返し問題を繰り返し解き、自分の得意・不得意を見つける

何度も問題を解いていると、いつも間違える問題が分かってきます。その分野を重点的に勉強しました。

## ◆ どのような仕事をしているのか理解する

具体的な仕事のイメージを持てるように、インターンシップに参加し、実際の業務を体験したり、職員から話を聞いたりしました。

# 先輩職員からのメッセージ

- ◆ 宮城がもっと好きになります！
- ◆ 未来の世の中を担う子どもたちのために、働くことができます！

皆さんと働くことができるのを楽しみにしています